

平成 25 年 10 月 1 日

国公立大学図書館長 殿

国公立大学図書館協力委員会委員長  
早稲田大学図書館長 飯島 昇藏

国公立大学図書館協力委員会・日本図書館協会大学図書館部会主催による  
平成 25 年度大学図書館シンポジウムの開催について（ご案内）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記シンポジウムを下記のとおり開催致しますので、貴図書館よりご参加くださいますようご案内申し上げます。

## 記

### 1. テーマ： The University Library of the Future 大学図書館の未来

#### —開催趣旨—

大学図書館の目的が教育研究支援にあることについては論をまたない。しかしながら、昨今の日本の大学図書館が一斉に教育支援（例えば「ラーニング・コモンズ」の設置）の方向に動いていることからわかるように、その活動に関する中心的な課題、議論は時代とともに動いている。また皮肉な見方をすれば、どこかが始めたから我も我もと流行に乗っている面も見え隠れする。

内部的な機能を見ても、印刷媒体を中心としたメディアの収集、組織化、蓄積、提供を軸とした図書館機能—誰もが疑わなかった伝統的な図書館機能—は、電子情報環境下において、その役割を相対的に縮小しつつある。それらの中には今後も残していかなければならないものがあるのは事実であるが、今までやってきたことを漫然とそのままだり続けるということはある得ない。一方、電子情報環境下において図書館がどのような機能を果たすべきかという議論は果てることがない。

このような変容の時代にあって、大学図書館の未来は不確実であると言わざるを得ず、しかも、限られたリソース（人的資源も含む）の中で、今後我々がどのような方向に向かっていくべきなのかということについて、確かな一つの答というのにはあり得ない状況である。大学図書館関係者の一人一人が自らのおかれている環境の中で、最適解を見つけ出し、していかなければならないのである。

本シンポジウムでは、海外から著名な大学図書館長らをお招きして基調講演をお願いし、

大学図書館のこれからの機能についての考えをお披露いただくとともに、日本の大学関係者による講演、講師陣によるパネルディスカッションによって議論を深めることとしたい。

2. 期 日： 平成 25 年 10 月 31 日（木） 13:00 ～ 17:00

3. 定 員： 240 名（先着）

4. 参加費： 無料

5. 会 場： 第 15 回 図書館総合展第 3 会場 パシフィコ横浜 アネックスホール 203  
(アクセス：<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>)

6. プログラム：

12:30	受付開始
13:00	開会 挨拶：飯島昇藏（国公立大学図書館協力委員会委員長）
13:00～ 15:00	【第 1 部】講演 講演 1：スーザン・ギボンズ（イエール大学図書館長） 講演 2：リック・アンダーソン（ユタ大学図書館副館長） (ともに同時通訳あり)
15:15～ 16:45	【第 2 部】パネル・ディスカッション パネリスト：スーザン・ギボンズ（イエール大学図書館長） リック・アンダーソン（ユタ大学図書館副館長） 田村俊作（慶應義塾大学メディアセンター所長） コーディネイター：逸村裕（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授）
17:00	閉会

7. 参加申込み・お問合せ先：

国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会  
事務局担当 島文子（千葉大学附属図書館）[sympo-jimukyoku@chiba-u.jp](mailto:sympo-jimukyoku@chiba-u.jp)

※なお、当日は Ustream 配信を行う予定です。視聴方法等については、図書館総合展のウェブサイト (<http://2013.libraryfair.jp/>) でご確認ください。

以上